

Stader Daily Newspaper

ステイダー・デイリー新聞社



高度の信頼性で新聞制作業務を安定運営

ステイダー・デイリー新聞社は
Stratus Avance ソフトウェアで新聞発行の生命線を維持

ステイダー・デイリー新聞社は**Stratus Avance** ソフトウェアによりビジネス・クリティカルなコミュニケーション・サーバの無停止化を実現。導入のしやすさと群を抜く経済性が採用の決め手に。

ビジネスの状況と課題

発行部数 32,000、ドイツの Buxtehude and Lower Elbe 地方 Stade 市の地方紙ステイダー・デイリー新聞社 (Stader Daily Newspaper) は、紙面レイアウトと印刷のプロセスのコンピュータ化を図った。今回統合された編集と制作のシステムはテキスト起稿から版下作成に至るプロセス全体を管理している。社外とのコミュニケーションもデジタル化され、最も重要な機能である顧客やリサーチ機関などとの各種発表や告知広告等の情報交換を支えている。

広告原稿データの半分が E メール経由で入って来ることから Microsoft Exchange E メール・サーバは同社にとってビジネス・クリティカルなコンポーネントとなっている。このシステムが万一停止すると、新聞の制作プロセスが遅れ、停止時間が長引いて校正作業ができなければ、広告収入の減少に直結することになる。

「広告や編集のシステム、版下作成や経理、運用管理のソフトウェアなど様々な重要なシステムを使っていますが、コミュニケーションとデータ交換の機能が止まれば全てが機能しなくなると言っても過言ではありません。E メールとデータ通信の重要性こそが、我々が無停止ソリューションを検討した理由です。」と同社の IT 部門責任者であるウォルター・ホフマン氏 (Walter Hoffman, Head of IT) は語る。

QUICK FACTS

SOLUTION PROFILE

- ・新聞発行の生命線であるコミュニケーション・システムの自動連続稼働と仮想化環境を実現。
- ・24 時間自動監視による障害検知と管理の機能がシステム停止とデータ喪失を防止。
- ・単一の管理コンソールでビジネス・アプリケーションへ 24 時間アクセス。
- ・標準装備の仮想化機能で複数の Microsoft Windows と Linux の仮想 OS をサポート。
- ・無停止ソリューションによる安全なサーバ統合環境。
- ・徹底した導入・設定・運用のしやすさが最小の TCO で全ての要件を満たすことを可能に。

PRODUCTS

- ・ Stratus Avance ソフトウェア
- ・ 業界標準 IA サーバ
- ・ Microsoft Exchange Server

SERVICES

- ・ MTS Systemhaus

「**Avance**はインストレーションに手間がかからない点で定評がありますが、時間に余裕のない我々は 5 台の仮想サーバの全てのセットアップを 2 日間の就業後の時間帯を費やすだけで完了しました。」

Roland Stoschik, Technical Lead, MTS Systemhaus

「**Stratus Avance**と比較すると、ハードウェア追加購入費用を含め、従来型の仮想化ソリューションなら 40%、クラスター・ソリューションなら 50% 余分にコストがかかっていたことでしょう。」

Walter Hoffman, Head of IT, Stader Newspaper



Stratus Avance ソフトウェアによる課題解決

様々な高可用性技術を検討するなかで、外的障害 - 例えば火事が発生しても稼動し続けることも要件であった。

さらに可用性の保証に加えてビジネスへの影響が少なくコストを抑えられることが重要であった。他のソリューションは新たなハードウェアの購入や既存設備の置換えに多額の費用がかかることから、全て不適格と判断された。「一部のコンポーネントを機能させるために順調に稼動しているシステムを入れ替えるなどというのは、不経済で誤ったアプローチでした。」とホフマン氏は振り返る。

検討の結果、全ての要件を満たす唯一のソリューションが Stratus Avance 無停止型仮想化ソフトウェアだった。「Stratus Avance は 2 台の標準 IA サーバを無停止システムに変えるソフトウェア・ソリューションです。」と説明するのはステイダー・デイリー新聞社のシステム構築を支援した MTS Systemhaus の技術責任者ローランド・ストシック氏 (Roland Stoschik, Technical Lead)。

Avance ソリューションは 2 台の物理サーバをユーザからシングル・システムに見える 1 台の論理サーバに変える。この論理サーバ上には複数の仮想サーバを設定してアプリケーションを稼動させることが可能であり、リソースの有効活用とピーク時負荷の分散による物理サーバ数の減少はエネルギー消費と運用コストの低減につながる。Avance は物理サーバを常時監視しながら同期稼動させ、1 台の故障時にはもう 1 台が自動的に処理を継続することにより業務の中断を防ぐ。

問題が解決し Avance が 2 台のサーバを認識すると片系稼働中に発生した差分データを修復したサーバに書き出し、それが完了すると完全な同期運転を再開する。システム管理者が問題の発生やデータ再同期を意識する必要はなく、全ての処理が Avance により自動実行される。

2009年4月、ステイダー・デイリー新聞社はAvanceを搭載したデュアル・ディスク内装の2台のサーバを同社社屋ビル内の異なる場所に設置し、アプリケーションの稼動を開始した。

導入効果

「Avance は正に我々が求めていた仮想化と無停止化の理想的な組合せを提供してくれました。今日、我々のシステムでは 5 つの仮想サーバ上でクリティカルなアプリケーションが稼動していますが、その可用性はこのインフラが保証してくれています。様々なシステム障害のシナリオで試験を行なってみましたが、いずれの場合もアプリケーションの処理に全く影響を与えていませんでした。」とホフマン氏は語る。

アプリケーションの Avance への移行は極めて短時間で完了した。大規模な IT 部門を持たない組織にとって、これは非常に重要なことだ。「Avance はインストールに手間がかからない点で定評がありますが、時間に余裕のない我々は、5 台の仮想サーバの全てのセットアップを 2 日間の就業後の時間帯を費やすだけで完了しました。」とストシック氏は語る。

Avance の管理が極めてシンプルであることも証明された。ステイダー・デイリー新聞社の IT 担当者はトレーニングに時間をかけることなく、数時間の研修で Avance を使いこなすことができたのだ。

経済性の面でも他のソリューションよりも遥かに機能が豊富でありながら TCO は極めて低いという Avance の優位性が証明された。

「Stratus Avance と比較すると、ハードウェア追加購入費用を含め、従来型の仮想化ソリューションなら 40%、クラスター・ソリューションなら 50% 余分にコストがかかっていたことでしょう。」とホフマン氏は話している。

「今日、我々のシステムでは 5 つの仮想サーバ上でクリティカルなアプリケーションが稼動していますが、その可用性はこのインフラが保証してくれています。様々なシステム障害のシナリオで試験を行なってみましたが、いずれの場合もアプリケーションの処理に全く影響を与えていませんでした。」
Walter Hoffmann, Head of IT, Stader Daily



<http://www.stratus-avance.jp/>

2011年8月: US 事例翻訳版制作